



**INNOVATOR'S
GARAGE**

Garage Nagoya Topics

ナゴヤ イノベーターズ ガレージ(愛称:ガレージ ナゴヤ)のスタッフが、ガレージ ナゴヤの活動やイベント、そこで活躍する人々を紹介するコーナーです。

Report 1

2020.07.20 Mon. Start

IGES (アイジェス:Innovator's Garage Entrepreneurs' Society)

ナゴヤ イノベーターズ ガレージでは「課題を持った人が集まれば、それに比例して対流・交流が活発化し、化学反応によって新しいものが生まれてくる」という考えのもと、さまざまなプログラムを会員に提供している。オープンから1年を迎えたこの7月、活動をさらに一歩進め「本音や想い、課題を話せる“場”をつくり、そこに触媒となるメンター(指導者、助言者)を入れることで化学反応を容易にし、大きな活動や事業化へ導く」ことを目指して、中部圏の発展に積極的でスタートアップ育成経験の豊富な4名のメンターを招聘。ソサエティ育成プログラム「IGES」を立ち上げた。

担当メンター		得意領域
名古屋大学 大学院情報学研究科/情報学部 教授	安田 孝美 氏	情報通信を活用した新しい社会・教育・文化・経済の構築
株式会社MTG Ventures 代表取締役	藤田 豪 氏	ファイナンス
株式会社スピード 代表取締役	岩木 勇一郎 氏	デジタルコンテンツ・ソフトウェア
株式会社ミライブプロジェクト 代表取締役	牧野 隆広 氏	スタートアップ起業、成長支援

IGES活動紹介:ものづくり企業の社会課題からアプローチした新規事業相談



メンターを務める牧野氏

会員企業の若手社員(Aさん)がメンターの牧野氏にビジネスアイデアを相談。Aさんの会社は創業100年を超えるものづくり企業だが、Aさんが考えるビジネスプランは、自社のコア技

術を生かしたものではなく、社会課題からアプローチした防災関連のものだった。オンラインで参加したAさんの上司も交え、Aさんのアイデアに対する思いや悩みを真剣に話し合った。

牧野氏は、現段階のビジネスプランについて、「視点の足りないところ」「ペルソナ(ユーザー像)の考え方」など、Aさんが気づいていなかった点も含めたアドバイスを行い、50分の相談を終えた。

IGESでは、定期的にナゴヤ イノベーターズ ガレージにメンターが訪れます(当面はオンラインを積極的に活用)。会員の新規事業やスタートアップ企業の悩み、「我々はこんなコア技術を持っているが何か新しいことはできないか」「こんな人とつながりたい」などの相談が可能です(現在は非会員も相談可)。新規ビジネス構築、イノベーションに関わる相談であればどのような内容でも可能ですので、ぜひお気軽にIGESをご活用ください。

問い合わせ先 ▶ ナゴヤ イノベーターズ ガレージ 山下 iges@garage-nagoya.or.jp



受講者のほぼ全員が参加したキックオフ講演会の模様
各回、講師にホンネの講演を展開していただき、
参加者との間で活発な討論が行われた

大人の学びなおし 第1クール終了(計10回開催)

ナゴヤ イノベーターズ ガレージでは、「大人の学びなおし デジタル時代の価値観を考えるリベラル・アーツ講座」を1月28日から8月18日まで開講し、悩める現代のビジネスパーソンに向けて、人生100年時代に求められる「背骨」となる価値観を考える機会を提供した(領域:文明、音楽、メディア、歴史、哲学、倫理、宗教、絵画、文学)。

本講座は当初、5月12日までの開催を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大により3月から中断。その後、5月末からオンラインにて再開した。7月からは感染予防対策を講じた上で通常講演を再開するとともに、来場が難しい方のためにオンラインも継続。予定より3カ月遅れて第1クールを終了した。

最終回は、愛知県立芸術大学教授の倉地比沙支氏を講師に迎え、「『いいかげんさ』と『緻密性』が同居する版画表現」をテーマに開催。倉地氏は、「版画表現とは何か」について、日本と西洋の版画文化・表現の違いを

含め、その成り立ちを解説するとともに、「現代版画がどのように日本や欧米で展開したのか」「現代の若手版画家を中心にどのような発展や可能性を広げているのか」を自身の作品を例にあげながら説明した。こうした背景を学ぶことで、参加者は「偶然性・良い加減」と「計画性・緻密性」という両極性をあわせ持つ、版画表現が持つ独特の世界観への理解を深めることができた。



最終回の講師を務めていただいた倉地氏

第2クール参加者募集！ 新たな価値観を考えるリベラル・アーツ講座

**地球生物、科学哲学、宇宙の領域を新たに加え、
さらに進化したリベラル・アーツ講座を11月4日から開催予定**

講師陣

文学、哲学、宗教、歴史、芸術、地球生物、科学哲学、宇宙などの分野で活躍する講師陣10名が登壇します

開催概要

開催時期	2020年11月4日(水)～ 2021年3月24日(水)
時 間	18:30 ～ 20:30
会 場	ナゴヤ イノベーターズ ガレージ(オンラインでの参加も可能です)
募集人員	40名(応募者多数の場合は先着順となりますのでお早めにご登録下さい)
参加費用	ナゴヤ イノベーターズ ガレージ 会員:10,000円(全10回) 一般:30,000円(全10回)


演題「シリコンバレーから見た日本」

参加者：会場 約20名、オンライン 約130名

【講師】Plug and Play Japan 株式会社

代表取締役社長 ヴィンセント・フィリップ 氏

プロフィール／新卒で日系商社のシリコンバレーオフィスに勤務。2014年よりPlug and Playにジョインし、IoT、Mobilityのプログラムディレクターと日本企業の窓口を担当。現在はPlug and Play Japan代表として、企業パートナー・スタートアップがWin-Winの関係になるようイノベーションサービスを展開している。


【講演要旨】
1. 世界から見た日本

昨今一般化してきたオープンイノベーションなどを要因として、イノベーションの起こるペースは加速している。今では企業が継続的に成長するために必要不可欠な要素とも言える。

日本でも国内のスタートアップを盛り上げ、世界のシーズを取り入れようと、投資や行政支援の動きが活気づいている。世界のスタートアップも、日本マーケットへ参入したいと考えている。世界から見た日本は、技術や文化の面でイメージが良く、マーケットとして魅力的である。同時に、習慣やスピードの違いから、大変なローカライゼーションが必要であり、参入は簡単ではないという印象もある。

今まで日本大企業とベンチャーの成功例が少ない理由

日本企業本社の体制	
ベンチャーとのコミュニケーションの仕方がわからない	
スピードと柔軟性のなさ	ベンチャーへの信頼の低さ
ベンチャー用バジェットがない	
社内R&Dと競合	社内イノベーションの重み
言語の壁	いいスタートアップが探せない

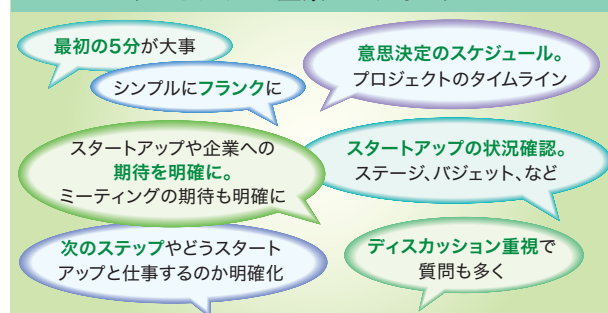
2. オープンイノベーション成功のカギ

一方、日本側では、オープンイノベーションやスタート

アップとの共創に難しさを感じている企業が多いかもしれない。日本企業がスタートアップとの協業による相乗効果上げる第一歩は、まず自社を理解すること。「自分たちにとっての成功とは何か」「真に足りない要素は何か」「制度や予算などの準備は整っているか」などを掘り下げれば、方向性を見誤ることなく、成功する可能性は高まる。

3. 世界の変革は共創が生み出す

今後は、シリコンバレーだけでなく世界のどこでも破壊的イノベーションが起こる時代となるだろう。しかし、スタートアップといえども単独で素早く社会を変える事は不可能で、協業や投資など、大企業の果たす役割は大きい。オープンイノベーションをとしてお互いを活用し、イノベーションで世界の流れを変えていきたい。

スタートアップ・企業ミーティングTIPS


図の出所：フィリップ氏の講演資料より作成